

鳥 取 会 報

第37号

2023年1月



白壁土蔵群（倉吉市）

目次

表紙	1	高齢者活躍人材確保育成事業実施状況	14～17
新年のご挨拶（連合会会長）	2	シルバー人材センターの紹介	18～19
新年のご挨拶（鳥取労働局長）	3	会員のひろば（南部広域SC、北栄町SC）	20～21
理事長・会長の抱負	4～10	趣味のひととき（大山町SC、倉吉市SC）	22～23
事業実施状況	11～13	正会員名簿・あとがき（裏表紙）	24

新年のご挨拶



公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 仲村 一男

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、新年をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。連合会の運営にあたりましては、格別のご協力とご理解をいただき感謝申し上げます。

また、行政をはじめ関係機関の皆様にはシルバー事業にご指導とご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。さて、少子・高齢社会が進む中で労働力不足はコロナ禍中ではあります。鳥取県におきましても有効求人倍率は一・二倍〔令和四年九月〕

と、求職者を上回る水準で推移しております。そういう中でシルバー事業も多様な働き方のひとつとして参入しているところですが、会員数につきましては、定年延長及びその後の再雇用制度、更に七十歳までの就業機会の確保策の導入等により会員数の伸び悩みがあるところであります。

また、そのことにより事業実績が停滞しているという現状であります。この様なことを打開して、地域の要請や期待に応えるため、あらゆる手段による会員数の拡大、また就業機会の開拓による働く場の確保を行い、就業

率を高めることが重要であると考えます。また、昨年は就業上の死亡という事故が発生しましたので、「安全はすべてに優先する」という理念に基づき安全就業対策を組織的に取り組んで、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしてまいります。この一年が関係者の皆様にとって、明るい年になりますことを祈念して新年のご挨拶といたします。



新年のご挨拶



鳥取労働局長

山 本 浩 司

シルバー人材センター会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。気持ちも新たに健康やかな年をお迎えのことと拝察いたします。

さて、県内の新型コロナウイルス感染症は、いくたびも波を繰り返し、その感染状況は予断を許すものではありませんが、私たちは、いま、社会全体としてコロナ禍の出口を見据え、「感染症対策と経済活動の両立」という難題に挑戦しています。

全国の完全失業率は、コロナ禍拡大前と同水準に戻りました。また、県内では製造業を中心とした幅広い産業において求人数が回復

し、有効求人倍率は、全国よりも高い水準で推移しています。総じて、雇用失業情勢は持ち直しの動きが広がっています。

そのような状況の下で、鳥取労働局は「地域の雇用を支える。『働く』を守る」ことに真剣に取り組んでいます。私どもは、高齢者、女性、若年者・新規学卒者、非正規雇用労働者、就職氷河期世代、障害者、外国人など、すべての方が活躍できる社会の実現にむけ、雇用機会の確保と多様な人材の活躍を支援しています。

その際、人こそ財（たから）の思いを持ちながら人材育成策に取り組むとともに、能力

ある人材をいかに地元鳥取の仕事にマッチングさせていくか、策をめぐらせているところです。

今後、益々高齢化が進んでいく中において、鳥取労働局は、シルバー人材センターの皆様と連携しながら生涯現役社会の実現を目指し、高齢者が地域で働ける場や社会を支援活動できる場の拡大に引き続き取り組んでまいります。

鳥取労働局は、地域の「働く」についての大きな役割と責任を持っています。地域の皆様からのご期待に応えるため、現場からの声によく耳を傾けながら、これからも、地域の総合労働行政機関として、力を発揮していきたいと考えています。ぜひ、よりよい社会づくりを共に進めてまいりましょう。

会員の皆様には健康や感染防止対策に十分ご留意の上、今まで培ってこられた経験を活かしながら、社会の支え手として一層ご活躍されることを祈念いたします。明るいニュースが少しでも多く聞かれることを心から願ってやみません。

以上、新年のご挨拶といたします。

シルバー人材センター 理事長・会長の抱負



公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター



理事長 伊藤 茂樹

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、おだやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

私は、令和四年五月三十一日に開催された本センターの第四十一回定時総会において、理事に再任され、同総会の後に開催された臨時理事会において、理事長に再任されました。

微力ではありますが、誠心誠意その職責を全うしていきますので、よろしくお願い申し上げます。

さて、昨年二月に始まったロシアのウクライナ侵略の影響により、エネルギーや食品の価格は高い水準で推移し、コロナ禍において、高齢者が生活していく上で、厳しい状況が続いています。

このような中、昨年十月に労働対価である最低賃金的大幅に引き上げられ、鳥取県の最低賃金も引き上げられました。

本センターは、鳥取県の最低賃金の引き上げを受

けて、配分金の額を見直し、本年四月から改正することとしました。

また、令和五年度の最重要課題は、令和五年十月一日から施行されるインボイス制度において、納税すべき財源を確保することです。

本センターは、インボイス制度に対応するため、本年三月末までに開催されるいずれかの理事会において、標準的な配分金と事務費を表示する「受注見積基準表」の改正を提案し、承認を受けて同制度に適切に対応していく予定です。

終わりに、関係各位のご発展と会員の皆様並びにご家族のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

公益社団法人 米子広域シルバー人材センター



理事長 仲村 一男

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと

お慶び申し上げます。

地域の皆様のご支持、行政や関係機関のご支援によりシルバー事業の活躍の場が図られていることを厚くお礼申し上げます。我が国におきましては、少子高齢化が進展し、長期の人口減少過程に入っています。政府は生涯現役の実現、及び七十歳まで就業できる政策方針を発表する等、高齢者を労働力人口に活用する施策を施しています。

この様な中、担い手であるシルバー人材センターの役割がますます大きなものになっています。さて、我が国は、人口が減少する一方、高齢化率が上がり、医療保険や年金等を支える若い世代のひとりひとりの負担を大きくし、社会保障制度そのものを危うくする要因となっています。

さらに短時間就業や早朝、夜間就業、介護、育児等の現役世代を支える分野における労働力不足が生じています。さて、新型コロナウイルス感染症の影響により、シルバー事業も影響を受ける中、米子広域シルバー人材センターは、これらの分野への就業機会の拡大に努めるとともに、労働者派遣の財政支援と連合の指導により積極的に取り組んでまいります。

また、会員が健康で生きがいのある生活を実現し、米子広域シルバー人材センターは米子市・日吉津村等の行政機関と連携を図りながら、地域社会から信頼される公益社団法人の役割を果たしていきます。

終わりに皆様にとって、明るい希望に満ちた良い新年になりますことを祈念して新年のご挨拶いたします。

公益社団法人 倉吉市シルバー人材センター



理事長 田民 義和

新年あけましておめでとうございます。
会員の皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこ
と心からお慶び申し上げます。

さて、二〇二〇年一月十六日に日本で最初に新型
コロナウイルス感染症患者が報告されてから三年を
迎えるようとしています。未だ終息が見えてこない
中、政府は経済活動に軸足を置き始めています。コ
ロナ禍によりセンター事業にも大きな影響が続いて
いますが、徐々に事業契約高は回復傾向にありま
す。一方で会員数は減少傾向が続いています。会員
増強は引き続き経営の大きな課題であり、会員各位
のご協力を仰ぎながら引き続き増強に取り組んでい
くこととしています。

また、我が国は人口減少が続く、いわゆる生産年
齢人口の減少は年々深刻化してきています。そうし
た状況下、高齢者の労働力は「銀（シルバー）の
卵」といわれる時代へと変わっていくのではないでし
ょうか。高齢者の知識や経験、技能がますます地域
社会はもとより日本経済に必要とされています。そ
して、頼りにされることが高齢者の生き甲斐に繋が
り健康寿命は延びていくのではないのでしょうか。会
員の皆様が生き甲斐のある人生を歩んでいけるよ

う、センターとして努めてまいります。

終わりに、この一年、ケガや事故が無く、健康
で、皆さんが楽しく活動いただければと願っており
ます。そして、センターが地域からますます必要と
され、期待される、貢献できる組織として発展して
いけるよう、会員・役職員が一体となって努めてい
きましょう。

皆様のご健勝とご多幸並びにご活躍を祈念し、新
年のご挨拶といたします。

公益社団法人 境港市シルバー人材センター



理事長 米村 健治

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、穏やかに新しい年をお迎えのこととお
喜び申し上げます。

さて、昨年は、長引くコロナ禍、ロシアのウクラ
イナへの軍事侵攻、また激しい気候変動による豪雨
等の自然災害も頻発し、これらのことが輻輳し歯止
めの利かない円安、物価高により社会経済が、混乱
した極めて厳しい一年でした。

このような状況の中、シルバー人材センターでも
運営面での課題、懸案が惹起した年でした。シルバ
ー人材センターの健全な運営には、会員の確保と安

定した就業機会の提供が欠かせません。とりわけ、
会員の確保については、喫緊の課題と位置付けてい
ます。また、インボイス制度への対応についても懸
案でした。これらのことについて、鳥取県シルバー
人材センター連合会や境港市を始め、関係機関のご
指導ご支援を頂きながら、会員、役職員一丸となっ
て尽力して参りましたが、十分な成果を得たとは言
えない状況だと思っています。

会員の確保と就業機会拡充の秘訣は、仕事依頼者
の要求に迅速で、かつ、丁寧に対応し、地域から信
頼と信用を得ることが大切で、このことが持続
可能なシルバー人材センター運営の基であること
は、論を俟たないのです。

以上のことを踏まえ、「高齢者の幸せ」と「地
域社会への貢献」という二つの使命を果たすには、
役職員と会員が丸となって、業務に対応してい
かなければならないと考えています。

本年が、会員を始め関係する皆様にとって明る
い話題が多く、ご健康で栄えある年でありますよう、
心より祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 南部広域シルバー人材センター



理事長 有馬 均

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様には新年を健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

地域の皆様のご支援と南部町、伯耆町など関係機関のご支援、ご鞭撻を厚くお礼申し上げます。当センターの令和四年度の実績は、前年度よりやや向上すると予想しております。このことは、両町のご支援と地域の皆様のご愛顧の賜ものであります。

昨年十月、当センターでは、あつてはならない死亡事故が発生いたしました。関係機関の皆様方には大変ご心配と、ご迷惑をおかけいたしました。深くお詫び申し上げます。

機会あるごとに「安全第一」と言ってきたことが、空念仏に終わってしまい残念でなりません。改めて「安全は全てに優先する」ことを会員、役職員に徹底しなければならぬと思っています。

本年は、二度とこのような事故を起こさないよう原点に返り、基本的なこと「安全就業には万全を期す」・「法令を遵守する」・「組織の強化と人材を確保する」・「就業機会の開拓と拡大を図る」・「社会貢献に努める」など会員、役職員が一体となって取り組みなければならぬと思っています。

終わりに、いまだコロナ禍の収束は見通せませんが、私たち会員は高齢者です。コロナに感染しないよう、ワクチン接種するなど健康には十分注意し、本年が良い年であることを祈念して年頭の挨拶いたします。

公益社団法人 智頭町シルバー人材センター



理事長 谷口 辰夫

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、新しい年を健やかにお迎えるのこととお慶び申し上げます。

令和四年度上半期の事業運営は、ほぼ順調に推移しましたが、十月には、剪定作業時に転倒転落による重篤事故が発生したこと、更に、十一月には職員がコロナ感染により、事務所を数日間クローズした事など、安全就業に関わる取組みが機能しているかを確認した上で、「自分の安全は、自分で守る」という意識啓発を図りたいと思います。

人生百年時代を迎え、元気なうちはいくつになっても働き続けることが出来る就労環境を整えて、シルバー人材センターの会員が地域社会のニーズに生き生きと応えて行く集団でありたいと考えています。我が町の高齢化率は約四十五%になり、手助けを

求めておられる人が今後ますます増加すると思います。

地域社会の多様なニーズに応えるには会員の増強が急務です。令和四年度会員増強はしましたが、まだ目標に対して未達です。継続して新入会員の確保に向けて、いろいろな方策を駆使し、先ずは、令和元年度末の会員数まで確保達成したいと考えます。

令和五年度はインボイス制度への対応など課題は沢山ありますが、ひとつずつ着実に事業運営を行い、地域で頼りにされるシルバー人材センターになるよう会員一同で実践してまいります。

公益社団法人 岩美町シルバー人材センター



理事長 中澤 博之

新年あけましておめでとうございます。

みなさまにおかれましては輝かしい新年をお迎えるのこととお喜び申し上げます。

前理事長の急な辞任に伴い、令和四年四月より理事長に就任しましたが曖昧模糊の状態で数ヶ月が経過しました。

昨年はロシアのウクライナ侵攻、安倍晋三元首相の銃撃事件など国内外で社会をゆるがす出来事がたくさんありました。また新型コロナウイルスは一時収束する

もオミクロンの様々な新規系統が確認され感染拡大が続いており、依然終息にはほど遠い状況下であります。

令和五年十月一日より適格請求書等保存方式（インボイス制度）が施行されることになり、より複雑な経理処理が要求されるものと考えます。その他公益法人会計基準の変更（決算書表示様式）が現在検討されており、事務処理が煩雑になる恐れがあるようです。

また、令和三年四月には「改正高年齢者雇用安定法」が施行されており、七十歳まで就業機会の確保などが努力義務となっています。今後、会員数を含め、シルバー人材センターを取り巻く環境は大きく変化していくのではないかと危惧しております。会員の確保は、シルバー人材センターの運営の根底であり是が非でも目標を達成しなければなりません。安全を最優先し会員・役職員が一体となり笑顔の期末を迎える事ができるよう取り組んでまいりたいと考えます。

本年も関係各位のご支援とご協力を賜りますとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。



公益社団法人 湯梨浜町シルバー人材センター



理事長 **米村 繁治**

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、コロナウイルスは感染者の増減を繰り返しながら終息する気配がありませんが、コロナに対する適応力も高くなり、令和四年度湯梨浜町では二年間書面議決だった定時総会も感染対策をした上で三年ぶりに会員参加の総会を開催することができました。また、全国的に会員が減少する中でも少ないながら会員数を維持し、業務も順調に実績を伸ばしたことは会員皆様のご協力のたまものと感謝いたします。

しかし、令和五年は最低賃金の大幅改訂による配分金見直しやウクライナ紛争や円安による原材料費高騰等の影響に加え、十月から施行予定の適格請求書等保存方式（インボイス制度）に対応するための財源確保を余儀なくされること等々大きな課題が突き付けられます。これらの課題を抱える令和五年はある意味今後のシルバー人材センター運営の方向性を左右する試練の年になると考えています。そのため、役職だけでなく会員一丸となって関係機関の協力も得ながら対応策を講じて健全な運営継続をして

いかなければと決意しています。

終わりに、今後もコロナ感染や大きな社会制度の変化の中ですが、安全適正就業を第一に地域の皆様の温かいご理解ご協力を感謝しながら各業務に取り組んでいく所存です。

この一年が、関係各位にとって明るく楽しい年になりますことをご祈念申し上げます。

公益社団法人 琴浦町シルバー人材センター



理事長 **田中 明**

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス禍に追われる日々の中でありながら、会員をはじめ地域の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃は、シルバー人材センターの事業運営に御理解と御協力を賜り誠にありがとうございます。

高齢化がますます進む中ではありますが、シルバー人材センターは地域の皆様に幅広く理解され、受注件数も増えてきております。しかしながら多様化する仕事内容に対し、お客様の希望に沿えない現状があるのも事実であり、大変申し訳なく思います。さて、シルバー人材センターは、会員の高齢化ま

た新入会員の減少、今秋からはじまるであろうインボイス制度の導入などにより、今後大変な時期を迎えようとしています。

地域社会を支えるシルバー人材センターとして、改めてその責務を全うしていくことはもとより、本来の基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、安全を第一に優先し、地域の皆様に愛されるシルバー人材センターを目指してこれからも頑張つてまいります。

最後になりますが、この一年が会員をはじめ、地域の皆様、関係者の皆様にとって良い年でありますことを祈念し、新年の挨拶とします。

公益社団法人北栄町シルバー人材センター



理事長 日置 勝彦

新年おめでとうございます。

会員の皆様には、ご家族おそろいで健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年来の新型コロナウイルス禍の継続、ロシアのウクライナ侵攻、急激な円高や物価高等々、私たち高齢者の安心安全な生活に対する世情不安は未だ継続していますが、会員の皆様のシルバー事業への熱意と協力によって、着実に事業の進展が図ら

れて参りました。

ところで今年十月には、シルバー人材センターの存続を左右する「インボイス制度」が導入されることとなっています。現在、免税事業者であるシルバー会員は、お客様からの消費税を配分金として受け取っていますが、この消費税を負担せねばならないこととなります。この対策については今後とも将来展望を踏まえた対応が欠かせないと思います。

また、自治体や関係機関に対して、シルバー人材センターが高齢者の社会進出や健康維持に大きく貢献している現実から、助成金の拡大と業務の発注にもご協力をお願いしていくことも重要なことです。

引き続き少子高齢化が進行する中で、定年延長や再雇用等により新規加入がままなりません、会員の減少が続けばシルバーへの信頼を失い運営に支障が出ることは必定です。

会員増を果たしているシルバーの取り組みも参考にしながら、役職員が先頭に立つて会員増に取り組み、業務依頼者の期待に応えねばなりません。

更に新しい就業場所の確保の開拓も各センターの課題であり、自治体などの公的機関への協力要請はもとより、各種団体事業所へも積極的な働きかけを継続することとしています。

同時に安全就業は何よりも重視する最重要課題です。安全対策をしっかり認識し、家庭での健康管理にも留意して就業に当たり、シルバー人材センターへの信頼を高めましょう。

今年も、元気で明るく就業に取り組んで行きましよう。

公益社団法人大山町シルバー人材センター



理事長 西川 昌康

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

進行する高齢化社会の下で、年金・医療問題をはじめ労働問題など社会福祉関連の課題が日々報道されて、落ち着いた世情が続いています。

しかし、派生する人手不足問題などは、地域において、シルバー人材センターに寄せる大きな期待でもあります。

このニーズに応えるためにシルバー人材センターは、地域に密着して、要望に応えるための組織の強化が必要であると思っています。

組織の強化は、基幹である会員の拡充を図って、求めに応じられる広範な体制の確立と会員個々の技量を高めることが不可欠です。

地域の要望に応えて、一歩を踏み出す体制の充実・確立を図っていく必要があると思っています。

次の課題は、安全就業の徹底です。

各種事故は、シルバー人材センターに対する利用者からの信用失墜を招く大きな要因と考えます。各種事故の絶無に向けて、今一度原点を見つめる必要があると思います。

会員は、「生きがいの充実」「地域への貢献」を再認識して、一層の努力の下に団結して躍進したいものです。

コロナ禍も低下局面に入ったとも言われ始めました。今年が皆様にとって明るい年になりますことを祈念してご挨拶いたします。

一般社団法人八頭町シルバー人材センター



理事長 **衣笠 春寿**

新年あけましておめでとうございます。令和も早や五年目を迎えます。県内各センターの会員の皆様、シルバー事業推進の関係各位におかれましても健やかに新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。残念ながら新しい年にも終わりの見えないロシア（プーチン）によるウクライナ侵攻がもたらす世界全体での不幸な現状、ありとあらゆる紛争の深刻さ。三年過ぎても平穏な収束の見えない新型コロナウイルス感染への対応、暗かんとした不安から離れることができません。次の時代に明るい希望を伝えて残したいと願い、がんばって生きて来た高齢者には展望が見えない、心しまない悲しい思いがあります。誰に申し訳ない、こんなはずではなかったと言えいいのかさみしいばかりであります…。

さて、生き生きと活動されているシルバー人材センターの会員の皆さん、地域のかかえる高齢化の多くの課題の克服に貢献できるのは、皆さんご自身の健康で活発な日常の姿こそが第一であります。養って来られた技術や経験を生き生きと健康に地域に貢献されることがますます重要なことであると声援を送ります。又、会員同士の貴重な出会いも楽しく意義深いことであります。健康で事故もない安全な適正就業に徹して、皆さんが生き生きと過ごすことが今こそその高齢化社会の中のシルバー人材センターの大きな価値であることのように思えます。

ぜひ、この一年も皆様にもご家族にとっても幸多き年になりますようにご祈念申し上げます。この暗い世情の中でも負けない、くじけない高齢者仲間として、なおゆつたりおらかに過ごしていただくようお願い、新年のご挨拶を申し上げます。



江府町シルバー人材センター



理事長 **南波 英幸**

新年あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、終わりの見えないコロナウイルスへの対応や、ワクチン接種後の副作用に悩まされる方の増加など身近でコロナ関連の弊害が顕著にでました。その一方でGOTOキャンペーンが全国で実施されるなど、経済を回すための政策が展開されています。また、ウクライナ情勢の悪化長期化と円安に伴い、値上げのラッシュとなり家計を圧迫している状況です。

さて、私も就任して二年を迎えようとしています。おかげさまで当センターでは、会員の皆さまのお力添えをいただき重篤な事故もなく、小規模ながら運営も順調に推移しております。これからも、会員の皆様には安全就業を第一に、センターの活動に参加していただきたいと考えております。

毎年のことですが、当センターも会員数が増えず大変苦労しているところです。再雇用で六十五歳まで勤務される方も多く、退職された方も自分のやりたいことをしたいなど、加入していただくことは簡単なことではありませんが少しずつ理解をいただく

よう今後も声掛けをしていきたいと思ひます。
本年も関係各位のご指導とご支援を承りますと共に、皆様のご繁栄とご多幸を祈念し新年のご挨拶とさせていただきます。

日南町シルバー人材センター



会長 田邊 拓克

新年あけましておめでとうござひます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、会員の皆様をはじめ関係機関各位のご指導、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

さて、現在も「コロナ」に振り回され加えて「ウクライナ」問題とどちらも世界、地球規模の様相となり、我々の出る幕では無いようす。ただ、どちらも生死をかけた戦争に変わりはないと思われます。今後の進行に注目しながら、日々健康に気を配り生活できればと思ひてひます。日南町シルバー人材センターは、平成一二年元気でやる気のある高齢者が集まり日常生活で困った事をお手伝ひする目的で設立されました。

高齢化が益々進み会員数も減少してひく中、人材センターの在り方を原点に戻り、考えると作業依頼

者と会員の関係を密にし、依頼の内容を忠実に添える様にすること。また、会員の関係を密にする事が重要だと感じてひます。高齢化社会の中で、有るべき人材センターとは、老々介護の言葉通り助け合ひながら人生を生き抜くことに尽きると思ひうのです。その出会ひの場が人材センターであつてほしいと思ひます。
本年も関係各位のご支援とご協力を受け賜ひりますと共に、皆様のご繁栄とご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。

三朝町シルバー人材センター



理事長 田淵 忠昭

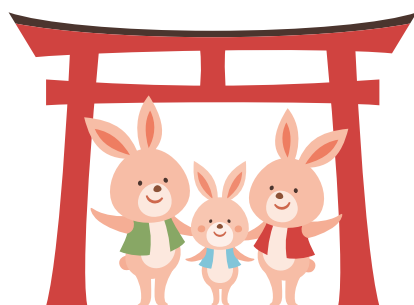
令和五年の初春を迎え会員の皆様にはお元気で新しい年を迎えられたことと存じます。ここ数年、新型コロナウイルス感染拡大の対応に振り回されてひます。落ち着いたかと思へば、次々と変異ウイルスが出現しさらに派生ウイルスと終息の見えない中、第八波の感染拡大が懸念されてひる昨今です。これまでと同様に健康管理、感染予防を継続して行かなければならないと思ひてひるところです。

近年、会員加入が思ひしくなく、作業依頼をお断りすることや、現在加入されてひる会員の方々の作

業負担が多くなつてひます。当センターでは会員の高齢化も見られます。数年前より会社・事業所等で定年延長や技術者の確保のため、退職されてもそのまま同職場や同業の他の会社に雇用されるなどの傾向があり、シルバー人材センターの門をたたいて下さる方が非常に減少してひります。会員募集にますます力を入れてひかなければと思ひてひります。

また、今年十月に施行される「インボイス制度」ですが、センターの運営に大きく負担がかかる制度であるように思ひます。国内全シルバー人材センターの運動によって、この制度が除外されることに期待するところす。しかしながら、「シルバー人材センター」を無くすようなことになつてはひけません。働く、働ける高齢者の受け皿であり、地域の方々の手助けになるセンターになれるよう精いっぱい、理事、会員の皆様と協力し精進してまいりたいと思ひます。

他のセンターの状況は分かりませんが、この現状で抱負と言ひても先行きの暗示のほうが多いのが正直な思ひであります。



令和三年度(下半期)事業実施状況

第三回理事会

令和四年三月十八日(金) 倉吉市において、第三回理事会を開催した。

議案第一号

令和三年度収支補正予算書(案)について

議案第二号

令和四年度事業計画(案)について

議案第三号

令和四年度収支予算書(案)について

議案第四号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会職員就業規則の一部改正について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会安全・適正就業推進委員会規程の一部改正について

令和四年度(上半期)事業実施状況

令和四年度定時総会

令和四年六月十七日(金) 倉吉市にて定時総会を開催した。

議案第一号

令和三年度事業報告承認の件

議案第二号

令和三年度決算報告承認の件

【監査報告】

議案第三号

理事選任の件

第一回理事会

令和四年六月二日(木) 倉吉市において、第一回理事会を開催した。

議案第一号

令和四年度定時総会(案)について

議案第二号

令和三年度収支補正予算書(案)について

議案第三号

令和三年度事業実施報告書(案)及び収支計算書

(案)について

【監査報告】

議案第四号

令和四年度収支補正予算書(案)について

議案第五号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会理事候補者の選考について

臨時理事会

令和四年六月十七日(金) 倉吉市において、定時総会終了後、臨時理事会を開催した。

議案第一号

公益社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会副会長の選任について

第一回事務局長会議

令和四年六月十三日(月) オンライン会議方式により、第一回事務局長会議を開催した。

議題

- ・第一回都道府県シルバー連合事務局長会議伝達
- ・令和四年度安全・適正就業研修会及び経験交流大会等連合会の主な会議等の予定について

第二回事務局長会議

令和四年十月十三日(木) オンライン会議方式により、第二回事務局長会議を開催した。

議題

- ・第二回都道府県シルバー連合事務局長会議伝達

- ・令和四年度経験交流大会、中国ブロック役員研修会、安全講習会及び安全パトロール等の予定について

- ・全シ協シルバー事業指導事業について

第一回安全・適正就業推進委員会

六月三日（金）オンライン会議で開催し、原案どおり承認されました。（出席者十八名）

議題

- 一 令和三年度 事故（傷害・賠償）発生状況について
- 二 令和三年度 安全・適正就業推進事業の実施状況について
- 三 令和四年度 安全・適正就業推進事業基本計画（案）について
- 四 令和四年度 安全・適正就業対策実施計画（案）について
- 五 令和四年度 シルバー人材センター事業 安全・適正就業強化月間実施要領（案）について
- 六 その他

安全・適正就業推進委員会委員による安全パトロール

米子広域シルバー人材センター

八月 二日（火） 米子市内 個人宅 剪定作業
就業会員 四名

南部広域シルバー人材センター

八月十八日（木） 伯耆町林道大倉（鬼住線）草刈作業 就業会員 十一名



米子広域SC 8月2日 剪定作業



倉吉市SC 9月15日 剪定作業



南部広域SC 8月18日 草刈作業



鳥取市SC 10月4日 剪定草刈作業



岩美町SC 9月22日 剪定草刈作業



日南町SC 10月24日 剪定草刈作業

鳥取市シルバー人材センター
十月 四日（火）
鳥取市内 三ヶ所
剪定・草刈作業
就業会員 六名
日南町シルバー人材センター
十月二十四日（月）日南町下石見 一ヶ所
剪定・草刈作業
就業会員 十五名

経験交流大会

十月二十六日（水）各シルバー人材センター役員・会員がコロナ対策を取り、七十四名が参加。最初に仲村連合会長から挨拶、続いて基調講演は鳥取県危機管理局危機管理政策課課長補佐 森岡潤一氏より「災害から身を守るために」を演題とし、具体的に分かり易く講演していただいた。また、岩美町シルバー人材センター中澤理事長、境港市シルバー人材センター築谷事務局長、南部広域シルバー人材センター田邊事務局長、北栄町シルバー人材センター田中事務局長に講話をして頂き、有意義な交流会となった。



安全・適正講習会

令和四年度の安全就業講習会は、東・中・西部地区で救急救命士による「就業中のケガ等の応急処置について」を実施した。

東部地区 十一月 七日（月）参加者 十三名
中部地区 十一月 八日（火）参加者 十七名
西部地区 十一月十一日（金）参加者 二十二名



東部地区



西部地区



中部地区



高齢者活躍人材確保育成事業

各種技能講習の開催

今年度の高齢者活躍人材確保育成事業は、県内の元気な高齢者に、人手不足分野や現役世代を支える分野などで就業して活躍いただくために、5種類の技能講習のほか、就業体験、セミナー、企業説明会を計画・実施しました。

また、周知広報は、テレビCMや公共機関広報紙への広告などでシルバー人材センターの活動などを紹介し、会員獲得に努めました。

開催地		講 習 名	日 程	日数	定員	受講者	修了者
東 部	鳥 取	草刈技能講習	6月22日(水)	1	10	10	10
		剪定技能講習	7月5日(火)～6日(水)	2	10	8	8
		調理補助スタッフ講習	8月3日(水)～4日(木)	2	10	5	5
		ハウスクリーニング講習	10月6日(木)～7日(金)	2	10	6	6
		介護補助講習	11月8日(火)～9日(水)	2	10	3	3
中 部	湯梨浜	草刈技能講習	6月15日(水)	1	10	12	12
	倉 吉	調理補助スタッフ講習	7月25日(月)～26日(火)	2	10	7	7
		剪定技能講習	9月15日(木)～16日(金)	2	10	6	5
西 部	米 子	草刈技能講習	5月26日(木)	1	10	11	11
		剪定技能講習	6月8日(水)～9日(木)	2	10	13	13
		介護補助講習	10月18日(火)～19日(水)	2	10	5	5
		ハウスクリーニング講習	10月24日(月)～25日(火)	2	10	8	7
合 計		12		21	120	94	92



草刈技能講習・湯梨浜



剪定技能講習・鳥取



調理補助スタッフ講習・倉吉



介護補助講習・鳥取



ハウスクリーニング講習・米子

就業体験・セミナー・企業説明会の開催



就業体験は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しながら開催しました。

セミナーは、女性会員拡大を目指してシニア女性限定で「メイクセミナー」を開催しました。

企業説明会は、県内の事業所にシルバーに関するニーズ等の調査を実施し、センターの利用等に前向きな回答をした事業所を対象に実施しました。

■就業体験

就業体験名	会 場	日程（開催順）	日数	定員	参加者
草刈・就業体験	倉吉市営住宅跡地	6月17日（金）	1	10	5
介護補助・就業体験	弓浜ホスピタウン	11月16日（水）	1	10	4
合 計	2		2	20	9



草刈・就業体験・倉吉



介護補助・就業体験・米子

■セミナー

60歳からの身だしなみ メイクセミナー	会 場	日程	日数	定員	参加者
	米子コンベンションセンター	8月23日（火）	1	30	9



60歳からの身だしなみメイクセミナー・米子

■企業説明会

企業説明会・中部	会 場	日程	日数	参加社
	倉吉未来中心	11月28日（月）	1	5



シルバーの説明



事業所とセンターの打合わせ

周知・広報活動

1 テレビ・ラジオCM放送による広報活動

女性会員出演によるCMを作成し、民放テレビ局3社で放送しています。



2 テレビ取材による広報活動

民放テレビ局3社に、シルバー会員の就業状況等の取材を依頼し、ニュース・情報番組等で放送されました。



4 公共機関広報紙等による広報活動

「とっとり県政だより」に会員募集の広告を掲載しました。

また、経済6団体の広報誌に仕事募集の広告を掲載しました。

3 新聞折込チラシによる周知・広報活動

新聞全紙に折込を行い、会員・仕事の募集の周知を図りました。



技能講習に参加して

技能講習を受講されて入会された方々の声をお届けします。

剪定技能講習を受講して

～女性大歓迎と載っていたので心が動いた～



公益社団法人
米子広域シルバー人材センター
大江 かすみ

以前から剪定に興味があり、剪定技能講習を受講したいと思っていました。募集は男性だけだろうという先入観からあきらめていましたが、今回の剪定技能講習案内に女性大歓迎と載っていたので、心が動きました。

連合会の方に伺ったら女性も受講されると聞いて、さっそく申し込みをしました。講習は六月八日～九日の二日間で受講者は十三人（内女性二人）でした。

一日目の講習内容は、樹木の種類、ハサミの手入れ、樹木の剪定の違いなど基本的なことを学びました。竹の小枝で手ほうきを作る講習もあって、四苦八苦しましたが楽しかったです。

印象に残っているのは、講師の先生がおっしゃった「剪定作業において、施主様とのコミュニケーションが必要」という言葉です。良好な関係をつくり、仕事を円滑に進めるためにはとても重要なことだと思っています。

二日目は実技指導でした。安全就業について説明のあと、ゴルフ場敷地内の樹木の剪定でした。剪定しながらその場で指導を受けますが、一本ずつ違う樹木を目の前にどう判断すべきか。高木から低木まで剪定の正しい知識と技術を身につけるためには、現場経験を積み重ねる必要があると思いました。剪定した後の大量にある枝木の回収処理が終わり、講習は終了しました。

樹木の枝葉の間から射し込む木漏れ日の下で、心地よい風を感じながら食べたおにぎりは、とてもおいしかったです。

今回の講習で学んだことを今後の業務に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました。みなさん、お疲れ様でした。

今は植栽班での仕事をしています。始めてまだ数ヶ月ですが、剪定後の枝木の回収、積み込み作業など、班の方々の指導を受けながら週一回程度で就業しています。

夏の暑さには少々バテぎみでしたが、四季折々の気候を肌で感じながら、無理なく続けていければいいかなと思っています。

調理補助スタッフ講習を受講して

～役に立つことばかり!!～

公益社団法人
倉吉市シルバー人材センター

浪江 美栄

体力低下と膝を痛めたため、介護の職場を退職しましたが、今後の経済的な不安もあり、短時間でも働ける仕事を探している時、広報でシルバー人材セ

ンターの入会説明会がある事を知りました。

シルバーなのだから体力的に無理な仕事はないのかな?と思い、入会説明会に参加しました。センターの仕組み・仕事内容について丁寧な話を聞くことができ、「短時間でも働くことができるなら」と入会することにしました。

入会申し込み時に、カウンターに置いてあった「調理補助スタッフ講習」のチラシを見て「無料で受講できるなんてラッキー」「せっかくなので、これからは色々な事にチャレンジしてみよう」と受講を申し込みました。

二日間の講習では「生活習慣病予防」「フレイル予防」「食品衛生」の講義や食べやすく工夫した調理実習を学び、大変充実した興味深い内容で、楽しく講習を受けることができました。仕事上だけでなく、家庭でもすぐに役立つことばかりでした。そして、この受講をキッカケに自動車学校の食堂での仕事をいただきました。

初めての職場・職種のため、緊張一杯でしたが、仕事場の方たちは皆さん優しく指導してくださり、少しずつ緊張もほぐれて働くことができるようになりました。

勤務最後の日には、「また来てくださいよ」と皆さんに声をかけてもらい、ホッとしました。

入会してまだ四ヶ月ですが、様々な仕事に声をかけていただき、自分の体調や予定など考えて、仕事を選択し、これまで経験のない職も経験しています。

まだまだ緊張続きの日々ですが、利用者様の「ありがとう」の言葉や会員の皆さんの丁寧で優しい指導を励みに頑張っています。

今後も機会があれば、技能講習を受講し、自身のスキルアップ・知識向上を目指していきたいと思っています。



公益社団法人 鳥取市シルバー人材センター

事務局長 山 本 雅 宏

本センターは、昭和五十六年七月一日に社団法人として、山陰地方で初めて設立されたシルバー人材センターであり、昨年度は、設立四十周年の節目の年を迎えました。

本来であれば、記念イベントを開催する等、会員といっしょにお祝いしたかったのですが、コロナ禍にあつて、沿革史「40周年のあゆみ」の発行のみに留めました。

会員数は、年金の支給年齢の引き上げと併せて、事業主に六十五歳までの雇用の確保が義務付けられたことにより、六十五歳以下の会員の確保が困難になりました。



沿革史「40年のあゆみ」

七〇〇人を下回りましたが、令和三年度は、微増し、七〇三人と七〇〇人台を確保することができました。

令和四年度は、初めて会員募集を目的としてYouTubeを利用した動画を配信し、更なる会員拡大に取り組んでいくこととしました。

わが国において、令

和二年一月に最初の感染者が確認された新型コロナウイルスは、変異を繰り返し、感染が急拡大した結果、日々の生活や経済活動に大きな影響を与え、本センターの実績は、令和二年度、三年度ともに落ち込みました。

また、令和二年度から四年度までの定時総会は規模を縮小して開催し、平成十四年度から毎年開催し、二五〇人程度の会員が出席していた安全大会は、令和元年度以降、中止しています。

本センターは、昨年度に就業機会及び会員の拡大、会員の能力や資質の向上並びに財政運営の健全化等の指針となる「第五次中期事業基本計画」(令和四年度～八年度)を策定しました。

令和四年度は、同計画の初年度に当たり、心新たに、事業に取り組んでいくこととしています。



YouTube動画制作風景



安全適正就業標語表彰式



スマホ講習会



剪定講習会

で毎月二回、安全・適正就業部会員(七月は毎週一回、役員)が安全パトロールを実施するとともに、安全適正就業の標語を募集し、安全就業の徹底に努めています。

また、剪定講習会、刈払機取扱講習会、スマホ講習会、健康講座、襖・障子・網戸張替講習会、子育て支援講習会、整理収納セミナー等、各種講習会を開催し、会員の技術や資質を高める努力をしています。

今後とも、鳥取市シルバー人材センターは、会員と役職員が一体になって、地域社会に貢献するため、努力を重ねてまいります。



公益社団法人 境港市シルバー人材センター

事務局長 築 谷 俊 三

境港市は、海の港である重要港湾「境港」^{さかいこう}と特定第三種漁港「境漁港」、また空の港である国際空港「米子鬼太郎空港」という「三つの港」を有しています。これら極めて重要な社会基盤と、豊富な水揚げ量を誇る「水産資源」に加え、累計の入込客数が四〇〇〇万人を突破した水木しげるロードなどの「観光資源」を生かした賑わいのあるまちづくりが進んでいます。

境港市シルバー人材センターは、境水道を跨ぐ境水道大橋の袂に位置しています。近くには、安全で安心、高度な水揚げ機能を備えた「境港水産物地方卸売市場」の整備が進んでいます。その市場から荷を積んだ大型トラックが、国道を行き来しています。風向きによっては、潮の香りが運ばれ、改めて港町を実感できる場所に位置しています。

本センターは、平成三年十月に県内で七番目のセンターとして設立、平成二十五年には公益社団法人に移行し、一昨年には設立三十周年を迎えました。

会員数は、平成九年度から減少傾向で、令和四年三月末で一六九人、ピーク時の約半数となっています。

す。このため、会員の確保を最重要課題として位置付け、境港市報へのチラシ折り込み、リーフレットの公共施設等への配架や各種イベントでの配布による広報活動をはじめ、会員の口コミによる勧誘や入会説明会を随時開催するなどしています。過去には、入会促進キャンペーンとして、入会者を紹介した会員にインセンティブを与えるなどの取り組みも行いました。また、地域貢献の取り組みでは、ボランティアで公共的な施設の除草作業を継続的に実施しています。このような様々な普及啓発活動を通して会員の確保に努めてきましたが、会員数の減少に歯止めがかからず危機感を抱いています。

年金支給開始年齢の段階的引き上げに伴う定年延長や再雇用の影響、長引くコロナ禍や消費税インボイスへの対応など、今後もシルバー人材センターを取り巻く状況は、ますます厳しくなることが予想されますが、役職員と会員が丸となって、この難局を乗り切っていかなければならないと考えています。



いも掘り



除草ボランティア



障子張替え

会員の広場



剪定班に入会・ 人生の手本を教わる

公益社団法人
南部広域シルバー人材センター

長 尾 健 治

この春、専務理事退任と同時に剪定班会員となりました。剪定班入会の動機は「剪定が好きだった」ということに尽きます。ちなみに、若いときから趣味で果樹は四十年、庭木は十年ほどやってきました。



とはいえ、仕事で剪定を行うということは作業のスピードや正確さ、何よりも出来栄を求められます。最初は分からないことも多く、とまどうこともしょっちゅうでした。その都度、班長をはじめ先輩の会員さんから親切なご指導を受けました。十月も過ぎ半年が経過しても続けて来られたのは一緒に仕事をする仲間のおかげと感謝する毎日です。

剪定班入会直後の四月、五月は松の剪定、いわゆる緑摘みの最盛期でした。最初に足場板に乗ったときはバランスが取れず、低い位置でもふらつく状態でした。そして数日するとふくらはぎが痛み、筋肉の衰えを痛感しました。一か月もすると足の痛みもなくなり、足場板の上でも平気で立てるようになりました。おかげさまで現在、体重も十キロ減りウエストも十センチ細くなりました。以前を知る人たちからは、「ガンになったか」と聞かれることもあります。

剪定の仕事は、出来栄の大切さと言うまでもありませんが、お客様の信頼を得ることも大切と考えています。作業後、お客様からは自分で出来る庭木の手入れ方法や肥料、消毒などさまざまなお尋ねをいただくことも多くあります。都度、ていねいにお答えするのですが、剪定ばかりでなく庭木に関する広い知識を身に着けるため、これから勉強を続けていかなければと思っています。

最後に、この仕事を始めてもつとも心を動かされたことを申し上げます。それは「掃除の大切さ」ということです。剪定が終わると地面に落ちた枝葉の掃除が始まります。その姿はみんなが真剣で一生懸

命です。ある日、掃除も終わって帰ろうとしたとき、班長がお客様の玄関先に落ちていた数枚の葉っぱを手で拾っておられる姿を見たとき、私もこれからはこのように生きたいと思いました。



会員の広場

好奇心旺盛で多趣味に



公益社団法人
北栄町シルバー人材センター
杉川 八千代

私がシルバー人材センターに入会したのは五年前だったでしょうか、仕事の内容は、花壇の花植え、美術展の受付、道の駅のトイレ掃除等です。トイレ掃除は特別に希望したわけではありませんでしたが、担当がいなくなり、現在六人で交代しながら頑張っているところです。この仕事をして日々感じているのは、様々な人間模様を見せてもらいながら、社会に出て働くことは、いくつになっても自分を成長させてくれるものだという事です。

さて、あなたの趣味は何ですか、と聞かれたら私はすぐに返事ができませんでした。何故なら私は好奇心旺盛で何にでも手を出してきたからです。そして現在も進行中なのが、絵手紙、水泳、コーラスです。

絵手紙は星野富弘さんの詩画に出会い、感動し、描きはじめて二十八年になります。今は描きたいと思うものを気の向くままに描いて自分流に楽しんでいます。



います。友人に出す便りは出来るだけ絵手紙にしていますが、喜んでくれるので、それが励みとなり続けています。

水泳を始めたのは二十年前です。体を動かす事が好きな私は膝を痛めてしまい手術もし、そのリハビリとして始めたのがきっかけです。新しいことを学ぶのはこんなにも楽しいのかとどんどんのめり込み、マスターズ水泳大会にも出場するまでになりましたが、大会は、現在はコロナで中止になってしまっています。それでもジムには通い、みんなと会っておしゃべりするのが生きがいとなり、続けています。

最後に、倉吉女声合唱団に入り六年目になります



が、歌はいつも私のそばにありました。社会人の時、子育ての時もコーラスの仲間がいました。倉吉女声合唱団は創立四十年という老舗クラブで、二十名ほどの団員で活動しています。そこでは、お母さんコーラス大会に出場したり、老人施設に出かけ歌ったりと楽しんでいます。歌うことは、健康にも良く、頭の体操にもなり、心がすっきりするのです。美しい衣装に身を包みステージに立てば、小学生の頃に戻ったような気分になり心が躍ります。

これからも出来るだけ頑張っていこうかなと思っています。

趣味のひととき



「地域の活性化は食にあり」 豆腐を作って十七年

公益社団法人
大山町シルバー人材センター

谷 尾 良

平成十七年から豆腐を作り十七年経った。「もうそんなに経ったかな」という感があります。自治会のメンバー四人で週に一度ではありますが欠かさず作っています。大山の麓で収穫された大豆、そして大山の雪解け水を使い、真心こめて作る豆腐です。昭和二十九年から作り始めた「国信じげ豆腐」。地域のお婆ちゃん達が作り始めた豆腐です。お婆ちゃん達（当時はバリバリの主婦であったと推測される）が作り始めたきっかけは健康診断でいい結果が得られなかったという。そこで栄養源として豆腐が選ばれたそうだ。

鳥取県には豊かな豆腐文化があったようだ。古い文献を見れば「魚の代わりに豆腐を食え」鳥取藩の初代藩主池田光仲が奨めたと伝わる。魚が貴重で入手にくい時代、貴重な蛋白源として大豆食を推奨した。質素儉約が藩是だったという。戦後、共同で



豆腐を作る小屋が各村に作られ（県内に五十か所あったという）それは豆腐小屋と呼ばれた。当方の小屋もその一つと思われる。現存する当時の豆腐小屋。貴重な一物である。昭和三十一年十月と記した桶（豆乳とにがりを合わせるためのもの）があった。取材が入ると必ずカメラに納めていた。その桶も今はない。「長い間有難う」と桶の供養もした。近所の人は「香りも高いし喉越しもいい。豆腐を食べちゃったけん長生きが出来た。」と豆腐に感謝をする地域のお年寄りです。

その豆腐は地域の活性化に大活躍です。いろいろなイベントでも食のあるイベントとそうでないイベントの参加数に雲泥の差があることは事実です。地



域のいきいきサロン、グラウンドゴルフ大会、三世代交流、氏神様の祭り等にそして盆、正月に里帰りする人たちに振舞われた。その場で食したり、賞品に出したりとその豆腐は地域の活性化に大活躍です。これから先もピュアな豆腐を作り続けたい。

趣味のひととき



ソフトテニスとの再会

公益社団法人
倉吉市シルバー人材センター

竹 信 憲 喜

私は、家庭の事情もあり六十歳で定年退職し、時間に余裕のある仕事をする事ができる倉吉市シルバー人材センターのお世話になり、四年目を迎えるようとしています。主な業務は、民間アパートの水道検針と市報配布を担当し、不定期での会場設営等の依頼も請けています。シルバー人材センターの職員の方、共に働く会員の方とも懇意となり、無理なく楽しく働いています。

さて、私の趣味なのですが、ソフトテニスを続けていて、練習は二時間程度を週四回、週末には大会等にエントリーもして、趣味を超えているかもしれません。こんなにのめり込んでいるソフトテニスですが、一時離れていた時がありました。中学高校と部活を続け、高校三年生で県トップとなり、インターハイ出場を果たしましたが、大学入試の為ラケットを握らなくなりました。その後、社会人になり、結婚し、子供ができると益々テニスコートに立つ機会がなくなっていました。息子が中学生になり、なぜか部活にソフトテニス部を選び、息子に頼まれてコーチを始め、高校で息子がソフトテニスを辞めた後もそのままのめり込んでいます。

練習は、倉吉打吹ソフトテニスクラブに所属していて、毎朝六時半から練習があります。正会員二十四名で五十三歳から八十一歳のメンバーで、初心者から経験者までレベルに合わせて楽しんでボールを打ち合っています。

競技としての練習は、三朝鉄人テニスクラブに参加していて、こちらは七十八歳でなお全国大会にて活躍中の女性（通称鉄人）を中心として、四十代から六十代のメンバーで毎週二回程度スケジュールを合わせながら大会で勝つ為の練習をしています。

ここ二年間は、コロナ禍等により、大会が相次いで中止となったり、開催されても感染が懸念される為、県内中部以外での試合は参加できていません。コロナ禍が収束し、家庭の事情が許せば県内外の大



会にエントリーし、全国各地のソフトテニス愛好者と交流したいものです。大会は年齢別のクラスに分かれていて、何歳になっても楽しめますから鉄人や諸先輩方の姿を手本として、全国大会で活躍できることを夢に健康が続く限りのめり込み続けようと思っています。

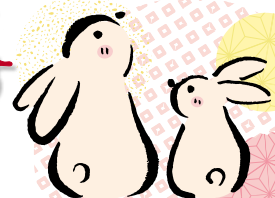
最後になりましたが、協力してくれる妻とソフトテニスとの再会の機会をくれた息子に感謝します。

公益社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会 正会員名簿

名 称	代表者	〒	所 在 地	電話番号	F A X
(公社) 鳥取市シルバー人材センター	伊藤 茂樹	680-0845	鳥取市富安2-104-1	0857-22-0050	0857-22-0051
(公社) 米子広域シルバー人材センター	仲村 一男	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823
(公社) 倉吉市シルバー人材センター	田民 義和	682-0816	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101
(公社) 境港市シルバー人材センター	米村 健治	684-0034	境港市昭和町11-22	0859-47-4540	0859-47-4541
(公社) 南部広域シルバー人材センター	有馬 均	683-0351	西伯郡南部町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330
(公社) 智頭町シルバー人材センター	谷口 辰夫	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366
(公社) 岩美町シルバー人材センター	中澤 博之	681-0065	岩美郡岩美町新井269	0857-72-2511	0857-72-2512
(公社) 湯梨浜町シルバー人材センター	米村 繁治	682-0723	東伯郡湯梨浜町久留98-4	0858-35-4130	0858-35-4130
(公社) 琴浦町シルバー人材センター	田中 明	689-2316	東伯郡琴浦町下伊勢196-3	0858-52-1001	0858-52-1004
(公社) 北栄町シルバー人材センター	日置 勝彦	689-2103	東伯郡北栄町田井46-2	0858-36-6220	0858-36-6227
(公社) 大山町シルバー人材センター	西川 昌康	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-1310
(一社) 八頭町シルバー人材センター	衣笠 春寿	680-0463	八頭郡八頭町宮谷254-1	0858-72-3351	0858-72-3361
江府町シルバー人材センター	南波 英幸	689-4401	日野郡江府町江尾2069	0859-75-2942	0859-75-3900
日南町シルバー人材センター	田邊 拓克	689-5211	日野郡日南町生山397-1	0859-82-0223	0859-82-6058
三朝町シルバー人材センター	田淵 忠昭	682-0152	東伯郡三朝町本泉359-1	0858-43-1883	0858-43-1883



新年明けまして
おめでとう
ございます



表紙に寄せて

白壁土蔵群 (倉吉市)

倉吉白壁土蔵群には江戸・明治期の歴史ある建造物が多く、国の重要伝統的建造物群保存地区に選ばれています。

玉川沿いには赤い石州瓦、白い漆喰壁、黒い焼き杉の腰板の土蔵が並び、独特な景観を創り出しています。

あ
と
が
き

今回も、関係各位のご協力によりまして第三十七号の発行を迎えることが出来ました。まずもって、厚くお礼申し上げます。

さて、本年十月にインボイス(適格証明書)制度の導入が予定されています。各シルバー人材センターでは、その対応の準備が急がれるところですが、皆様との協力により対応の準備に頑張っていきたいと思っています。

二〇二三年は、皆様にとって明るい話題が多く、より良い年となりますようにお祈りいたします。

会報 鳥取 第三十七号

令和五年一月発行

発行…公益社団法人

鳥取県シルバー人材センター連合会

所在地…〒683-0811

鳥取県米子市角盤町一丁目七六

電話…〇八五九-三七二五三一

FAX…〇八五九-三七二五三七